

Catalyst 9200スイッチのアップグレード

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[推奨リリース](#)

[ソフトウェアのダウンロード](#)

[アップグレードの必須条件](#)

[Rommonアップグレードとブートローダのアップグレード](#)

[アップグレードの方法](#)

[インストールモード](#)

[バンドルモード](#)

はじめに

このドキュメントでは、Catalyst 9200スイッチのアップグレード方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、C9200に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

このドキュメントでは、バンドルモードまたはインストールモードのいずれかを使用するCatalyst 9200スイッチのアップグレード手順について説明します。ISSUアップグレード方式は、Catalyst 9200スイッチではサポートされていません。

推奨リリース

ダウンロードページに基づく推奨ソフトウェアバージョンについては、次のリンクを参照してください。

[Catalyst 9000スイッチの推奨リリース](#)

ソフトウェアのダウンロード

ソフトウェアをダウンロードするには、<https://software.cisco.com/download/home>にアクセスして、製品を選択してください。

アップグレードの必須条件

- ・ 問題が発生した場合に、ターゲット・バージョンへのアップグレードまたは前のバージョンへのロールバックを行うには、2~3時間のメンテナンス時間で十分です。
- ・ 現在のIOSバージョンとターゲットIOSバージョンの両方の.binファイルを含む4 GBまたは8 GBのUSBドライブがあることを確認します。IOSイメージをコピーするには、USBドライブをFAT32でフォーマットする必要があります。
- ・ TFTPが現在のIOSバージョンとターゲットIOSバージョンの両方で設定されており、必要に応じてこれらのバージョンをスイッチにダウンロードするために到達可能であることを確認します。
- ・ 何らかの問題が発生した場合に、デバイスへのコンソールアクセスが可能であることを確認します。
- ・ 新しいイメージを拡張するために、フラッシュメモリに少なくとも1 ~ 1.5 GBの空き領域があることを確認します。十分な容量がない場合は、古いインストールファイルを削除します。

Rommonアップグレードとブートローダのアップグレード

スイッチ上の既存のリリースから、それ以降のリリースに初めてアップグレードする際には、スイッチのハードウェアバージョンに応じて、ブートローダが自動的にアップグレードされる場合があります。ブートローダが自動的にアップグレードされる場合、次回のリロードで有効になります。この後で古いリリースに戻しても、ブートローダはダウングレードされません。更新されたブートローダは、以前のすべてのリリースをサポートします。

すべてのメジャーリリースおよびメンテナンスリリースに適用されるブートローダのバージョンについては、次のリンクを参照してください。

[17.x.x用のROMMONバージョン](#)

[16.x.x用のROMMONバージョン](#)

アップグレードの方法

このドキュメントでは、バンドルモードまたはインストールモードのいずれかを使用する Catalyst 9200スイッチのアップグレード手順について説明します。

インストール モード

Cisco Catalyst 9200スイッチのインストールモードアップグレードは、単一のモノリシックイメージファイルではなく、個々のソフトウェアパッケージを使用してスイッチのソフトウェアをアップグレードする方法です。

INSTALLモードで新しいバージョンにアップグレードする場合は、「install」コマンドが使用されます。

インストールモードでアップグレードを行う場合は、記載されている手順に従ってください。

1. クリーンアップ

次のコマンドを使用して、非アクティブなインストールをすべて削除します。

```
Switch#install remove inactive
```

2. 新しいイメージのコピー

次のいずれかの方法を使用して、新しい.binイメージファイルをアクティブスイッチのフラッシュストレージに転送します。

TFTP経由：

```
Switch#copy tftp://Location/directory/<file_name> flash:
```

USB経由：

```
Switch#copy usbflash0:<file_name> flash:
```

使用可能なファイルシステムを次のコマンドで確認します。

```
Switch#show file systems
```

3. 検証

- ・ IOSをアクティブスイッチに転送した後、イメージが次のコマンドで正しくコピーされるかどうかを確認します。

```
Switch#dir flash:
```

- ・ (オプション) MD5チェックサムを確認するには、次のコマンドを使用します :

```
Switch#verify /md5 flash:<file_name>
```

このチェックサムが、ソフトウェアのダウンロードページで提供されているチェックサムと一致することを確認してください。

4. ブート変数の設定

次のコマンドを使用して、packages.confファイルを指すようにブート変数を設定します。

```
Switch#configure terminal
```

```
Switch(config)#no boot system
```

```
Switch(config)#boot system flash:packages.conf
```

```
Switch(config)#end
```

5. 自動ブート設定

次のコマンドを実行して、スイッチを自動ブートに設定します。

```
Switch#configure terminal
```

```
Switch(config)#no boot manual
```

```
Switch(config)#end
```

6. 設定の保存

次のコマンドを使用して、現在の設定を保存します。

```
Switch#write memory
```

次のコマンドでブート設定を確認します。

```
Switch#show boot
```

7. イメージのインストール

イメージをインストールするには、次のコマンドを使用します。

```
Switch#install add file flash:<file_name> activate commit
```

「This operation requires a reload of the system.Do you want to proceed?. [y/n]」と入力し、「y」と応答して続行します。

8. アップグレードが正常に行われたことを確認する

```
Switch#show version
```

注：この手順の間、ご使用のIOSイメージファイルの実際の名前で置き換えてください。

バンドル モード

Cisco Catalyst 9200スイッチでのバンドルモードアップグレードとは、スイッチのソフトウェアをアップグレードする方法を指し、ソフトウェアイメージ全体が1つのファイルにバンドルされます。このファイルには、スイッチの動作に必要なオペレーティングシステム、デバイスドライバ、その他の必須ソフトウェアなど、必要なすべてのコンポーネントが含まれています。アップグレードには、単一のソフトウェアイメージファイル（通常は.bin拡張子）が必要です。これは、複数のファイルやパッケージを含むインストールモードなどの他の方法とは対照的です。

C9200の場合、インストールモードおよびバンドルモードで、16. x.xトレインから17. x.xトレインへ、または17. x.xトレイン内で直接アップグレードできます。詳細については、社外向けのターゲットIOSのリリースノートを参照してください。

バンドルモードでのアップグレードについては、説明されている手順に従ってください。

1. 次のいずれかの方法で、スタンドアロンスイッチまたはスタックの各スタックメンバーのフラッシュメモリに新しいイメージ (.binファイル) を転送します

・ TFTP経由 :

```
Switch#copy tftp://location/directory/<file_name> flash-x: (Replace 'x' with the respective switch number)
```

・ USB経由 :

```
Switch#copy usbflash0:<file_name> flash-x: (Replace 'x' with the respective switch number in the stack)
```

2. コマンドを使用して、使用可能なファイルシステムを確認します

```
Switch#show file systems
```

3. IOSをすべてのメンバスイッチに複製した後、イメージが次のコマンドで正しくコピーされたことを確認します。

```
Switch#dir flash-x: (Replace 'x' with the respective switch number in the stack)
```

4. (オプション) コマンドでMD5チェックサムを確認します

```
Switch#verify /md5 flash-x:<file_name>
```

出力が、ソフトウェアのダウンロードページで指定したMD5チェックサム値と一致することを確認します。

5. 次のコマンドを使用して、新しいイメージファイルをポイントするようにブート変数を設定します

```
Switch#configure terminal
```

```
Switch(config)#no boot system
```

```
Switch(config)#boot system flash:<file_name>.bin
```

```
Switch(config)#end
```

6. 設定を保存する

```
Switch#write memory
```

7. 次のコマンドを使用してブート設定を確認します。

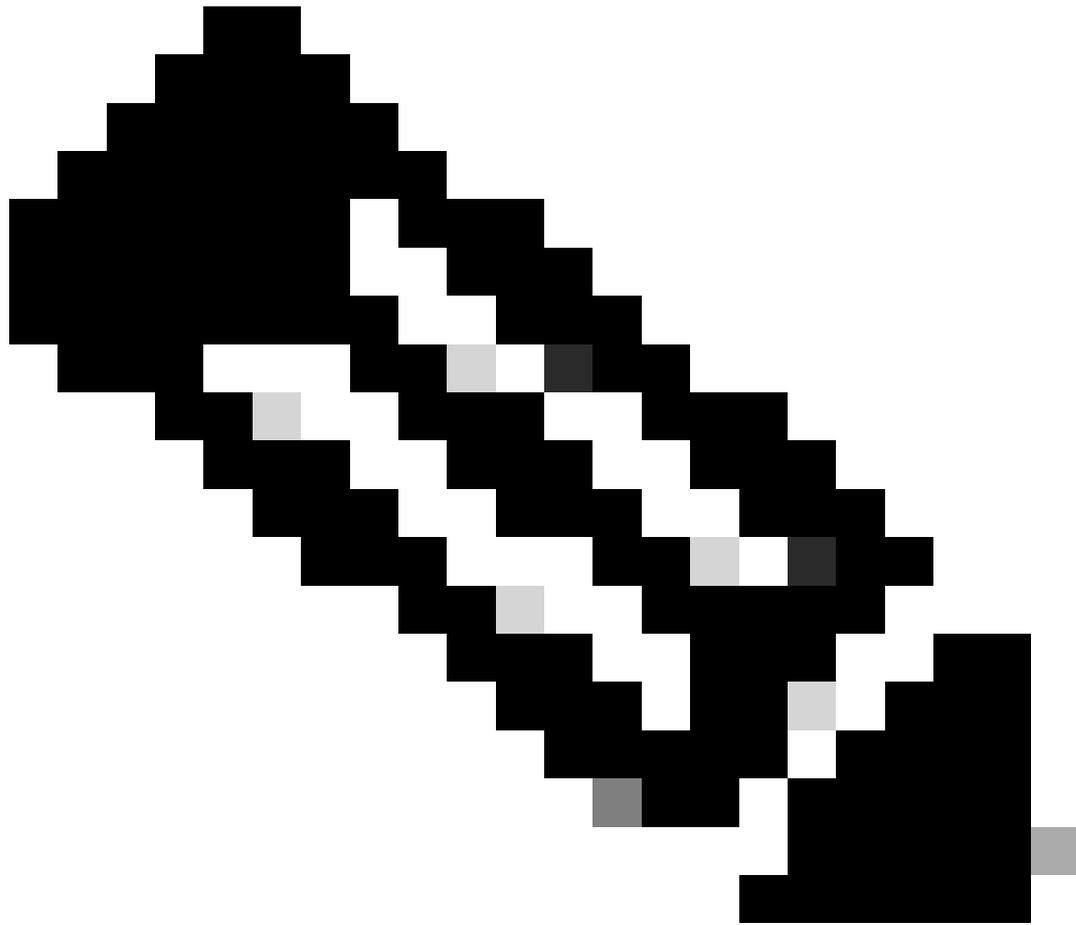
```
Switch#show boot
```

8. スイッチをリロードして新しいIOSを適用する

```
Switch#reload
```

9. アップグレードが正常に行われたことを確認する

```
Switch#show version
```



注：この手順の間、ご使用のIOSイメージファイルの実際の名前で置き換えてください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。